

いなさの風

平成31年 3月発行
発行者 山田 隆敏
編集 伊那佐まち協
事務局広報

世代間交流会

を実施して

子育て教育・福祉・健康部会

松岡 公輝



平成最後の天皇誕生日でもある平成三十年十二月二十三日(日)、午後一時〜四時の予定で子育て教育・福祉・健康部会主催による世代間交流会を旧伊那佐幼稚園で開催いたしました。

世代間交流会の当日は、年末の押しせまる折であり、また、クリスマスの前々日ということで、伊那佐地域の各家庭においても何かと慌ただしいタイミングであることから、果たしてどれくらいの参加者を募れるものかと不安なところでした。

◎まち協広報誌名の変更のお知らせ
『いなさびと』から『いなさの風』へ。
「いなさ」とは「東南の風」の意味です。伊那佐の人が皆で活動すれば風が起きます。大きな風を願って変更しました。皆様の熱いご意見と活動で紡ぐ広報誌です。

老人会からは役員の方々が十数名参加してくださることに、子どもたちの多数の参加を期待していたのですが、事前の申し込みには、十名足らずの名前があるだけでとても心配でした。

役員の方々のご意見を参考にし、伊那佐在住の子どもに限らず伊那佐地域外の子どもも「友達として」参加できるようにしました。そして当日、世代間交流会は、年末とは思えないほど暖かく、快晴日和のなかで実施する運びとなりました。



心配していた子どもたちの参加は、伊那佐地域外の子どもも含めて約四十名。老人会、保護者、役員の方々を合わせると約八十名の参加者を得ることができました。

皆様の「いなさ愛」。 活気づく部会活動。 ご参加に感謝！！

会長 山田 隆敏

住民の皆様、皆様による「まちづくり活動」に今後とも多数の参加をお願い致します。

次世代への継承を願った事業を展開して参ります。地域の活性化に向けて皆様の率直なご意見をお聞かせ下さい。



<お知らせ！>

アクティブ祭り(伊那佐まち協の協力事業)
日時：令和元年5月19日(日) 10:00~15:00
場所：アクティブセンターうだ(旧伊那佐小学校)
内容：展示・音楽・飲食コーナー

世代間交流会の内容は、石臼での昔ながらのお餅つきと焼きいも、そしてゲームです。参加者はまず焼きいもの準備です。用意してあるサツマイモを新聞紙で包んだあと水に濡らし、次にアルミホイルで包みます。それを園庭の靱殻を焼いている山の中へ入れて、一時間半ほど焼けるのを待ちます。待っている間に今度は餅つきです。程なく蒸し上がった餅米を石臼に移し杵でついていきます。小学生も幼児も杵でお餅をついた経験は皆無のようです。



←焼きいもや餅つきの他、2階には輪投げなどのミニゲームが設置され、交流を楽しみました。

曰取りは役員の方にお願ひし、一人数回ずつ杵を振ってお餅をつきました。みんなとても楽しそうでした。

つき上がったお餅は、老人会の女性の方々や役員の方が切り取り、あんやきな粉をつけていただきました。たった二日しかお餅つきをしなかったのですが、子どもたちはとても喜んでくれたようです。

それが終わると、二階にセッティングしている輪投げやスカットボールのゲームです。老人会の方にゲームの仕方を教えてもらいながら楽しみました。

園舎の隣には、馬の厩舎があります。人によく慣れた、気性の優しい馬で子どもたちはその馬との触れ合いも楽しんでいました。ようやく焼きいもができました。焼きいもを、焼き上がるのを待ち焦がれていた子どもたちが「おいしい。おいしい。」と食べていました。もちろん、参加された皆さんの分もあります。皆さんおいしそうに召し上がってくださいました。

こうして、初めての世代間交流会は盛況に終えることができました。ご協力いただいた老人会並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。ただ、世代間交流会という名のイベントであったので、子どもたちと高齢者の皆さんとの触れ合いの場をもっと作ることできていければよかったです。

たくさんの方々のご協力やご参加のお陰で大盛況!! 体験して、食べて、遊んで。有意義な時間でした。



認知症学習会

(認知症サポーター養成講座)

を実施して

子育て教育・福祉・健康部会

松岡 公輝

平成三十年度二つ目の子育て教育・福祉・健康部会主催事業である認知症学習会(認知症サポーター養成講座)を平成三十一年二月二十三日(土)午後一時〜三時の予定で旧伊那佐幼稚園二階において開催いたしました。

今日の日本の社会では、かなり以前から少子高齢化が叫ばれています。それとともに高齢者問題、とりわけ認知症問題が取り沙汰されて久しいです。伊那佐地域におきましてもこの問題は例外外ではありません。すでに十年近く前から、伊那佐地域の各大字自治会の人権学習会においては、振り込め詐欺や認知症などの高齢者問題に取り組みをされてきています。こうした下地があつて、今回この学習会を計画いたしました。市のまちづくり支援課の「参加者が少ないのではないだろうか。」という心配をよそに約五十名の参加者を得ることができ、改めて

関心の高さを知らされました。

学習会の内容は、宇陀市キャラバンメイト会長の山田基晴氏による『認知症サポーター養成講座』と宇陀市介護安心センターの山中佳奈氏による『認知症の対策』、そして、宇陀市健康増進課の山岡茂之氏による『宇陀市ケアネットワークについての説明』の三本立てです。六十五歳以上の人口比率である高齢化率が三〇%を超える宇陀市です。人口の三人に一人が高齢者。近い将来、その高齢者の四〇五人に一人が認知症を発症するだろうという予想。身近な人がいつ認知症を発症するかわかりません。認知症発症の見極め、そして正しい対応・対処の仕方などを詳しく丁寧にお話していただきました。参加者の皆さんは長時間にもかかわらず、真剣に話を傾けていました。



そしてこの日、参加者全員にオレンジリングが配布されました。

今回学習したことで、ゆとりを持って、認知症の問題に対応していけるといいと思えました。



山田基晴氏を始め山中佳奈氏と山岡茂之氏に宇陀市の認知症ケアに対する取り組みについてわかりやすく解説していただきました。

十二月、一月と消火器の点検活動にご協力いただき誠にありがとうございます。点検の結果、製造年月日の古いものがたくさんありました。そのまま放置していると事故につながる場合があります。古い消火器を物置や押し入れにしまい込んでしまっているケースもありました。そのような湿気の多い場所に長い間放置しておく、と腐食の恐れがあり危険です。入れ替えとリサイクルをお願いします。消火器の値段とリサイクル費用は、下記の通りとさせていただきます。



*** 新消火器の価格**

型式	リサイクル無し	リサイクル有り
10N型 (小)	4,600円	5,400円 (800円含む)
6S型 (大)	21,600円	22,400円 (800円含む)

★古い消火器の処理費用は大・小に関係なく800円必要です。

*** 新消火器の販売個数**

型式	本数
10N型 (小)	123本
6S型 (大)	4本

*** 回収を希望された戸数…82戸 (1戸の回収本数1~4本)**

今回の点検でかなりの成果がありました。活動が周知されていない大字もありました。みんなが安心して暮らすため、消火器点検活動を継続させることで、安全・安心なまちづくりをみんなの手を取り合って取り組みましょう!

「伊那佐の魅力再発見」学習会を実施しました

地域振興・産業・観光部会

奥田 博

○日時 三月三十日(土)

十二時～十五時

○場所 八咫烏神社参籠所

○参加者 二十八名

高塚地区の女性有志グループの皆さんに菊芋とクレソンのスープを作ってくださいました。また、パンはカフェ「ココット」のご協力による特注品。野の花を添えて♪



今年度最後の事業として、「伊那佐の魅力再発見」学習会が行われました。

第一部では「伊那佐の食」をテーマに伊那佐地区の野菜を食材とした料理を開発しようということで、高塚地区の女性グループと市内のベーカリーカフェ「ココット」の協力を得て、菊芋のスープとゴボウをパン生地練りこんだミニ食パンを試食しました。参加者からは好評で、将来的には伊那佐の健康食品として製品化したいものです。

第二部では、四人の講師をお招きして「伊那佐地区の神社仏閣」をテーマに語っていただきました。福西地区の浦田重博さんには、「福西のお大師さんと白山神社」、八咫烏神社宮司の栗野義典さんには「八咫烏神社の年間行事」、高塚地区の久我文昭さんには「七塚参り」、澤地区の柳澤一宏さんには「伊那佐各地区の名称の由来」や「澤地区の神社仏閣」を中心に、各講師ともエピソード等を交えて、貴重な話を聞かせていただきました。

観光資源の発掘や、特徴ある料理の開発が、伊那佐地区の活性化につながるよう、継続した取り組みを行いたいものです。



↑高塚の久我さん



福西の浦田さん↑



奥田部会長から第一部の試みについて説明いただきました。



← 澤の柳澤さん



◆春を呼ぶ花・福寿草
伊那佐地区のあちこちから春の便りが届くようになりました。高塚の八咫烏神社の境内には、伊那佐地区の山野草に造詣の深い大貝の大門茂右衛門さんより「いなさ会」を通じて奉納された福寿草があります。今年も無事に開花しました。「幸福と長寿の花」とよばれる福寿草。来年、また来年と末永く咲き続け、ゆくゆくは神社の名物になるといいですね。